



公平公正な
町をめざして！

「市長への手紙」が原因 役所内のパワハラ

匿名の「市長への手紙」が市役所に届きました。市の職員について指摘をしたものだったようです。副市長は『字が似ているから』という理由で一人の非常勤職員を会議室に呼びだし「誹謗中傷だ」「警察・裁判なども考えている」などと責めたのです。しかし一般質問で取り上げたところ、「警察」「裁判」は市の方針ではなく副市長の個人的発言だったと分かりました。筆跡鑑定もしていない。

突然市のトップに呼び出され、犯人ではないかと疑われ、この職員はたいへんにショックを受けたそうです。私はこれはパワハラだと考えます。パワハラとは、自分の地位を利用して自分より立場の弱い人に圧力をかけること。こういう人権侵害は委縮した市役所を生んでしまいます。この臨時職員は後日正式に、パワハラ被害の申し立てをしています。

▲ 市長12万円・市議会議員6万円 ボーナスを またアップ ▲

変だと思うのです。市民には「財政が苦しい」「お金がない」と説明しながら自分たちのボーナスは5年連続で上げるなんて。市長と市議会はいわば経営者の立場ですから、身を切る覚悟なしでは市財政の建て直しなどできないと思うのです。

「市民への説明責任は果たせる」と賛成した議員は言っています。本当に市民は納得するのでしょうか？

多摩では13の市が議員ボーナスの値上げをしていません!!!

千ヶ瀬バイパスのための代替土地 25年塩漬けで8億8千万円の損

静かな住宅地を分断するように千ヶ瀬バイパスの延伸工事が進められています。古い道路計画が今の時代に必要なのか、私は疑問を感じています。26年前青梅市は2200㎡の土地を買いました。利子を入れて約10億2千万円。その土地を一昨年道路のために移転するお寺にお譲りしたそうです。しかし25年の間に土地の値段は下がり、さらに大量のコンクリごみが地下に埋まってい

たと分かり、撤去費用も市が負担。合計約8億8千万円の損失となりました。「当時適正な価格で買った。25年後、適正な価格で売った。問題はない」と市はいいます。バイパスは東京都の道路ですよ。代替地は都に買ってもらうべきだったのではないのでしょうか。ごみが大量に埋められているのも調べず買うというのも問題です!!

議会内会派名〈みどりのオンブズマン〉ひだ紀子議会報告 vol. 24 2019 2月

連絡先：〒198-0171 青梅市二俣尾2-435

tel/fax 050-1332-9289 メールmidorionbu@msn.com

☆ HP「みどりのオンブズマンひだ紀子」で検索・FACEBOOKもご覧ください



みどりのオンブズマン

青梅市議会議員・議会報告 vol.24

ひだ紀子



政党に属していません。自然保護から出発。オンブズマンとして情報公開を使い市政をあきらかにしていきます。

● ボヘミアン ラプソディ

ロックバンド「クイーン」のボーカル、フレディ・マーキュリーの半生をたどる映画で、かつて大ファンだった私も観に行きました！多くの人がこの映画に励まされ、勇気づけられています。フレディ・マーキュリーは今でいうLGBT(性的少数者)です。イギリスに移住したペルシャ系インド人でスターになる前、人種差別も受けました。

フレディはエイズ発症により27年前に亡くなりましたが、最期まで看病した同性のパートナーの本によると、パーティ人間である一方で音楽作りに没頭。死を意識しながらもスタジオにこもり、名作と言われるCDを作り上げたことが分かります。

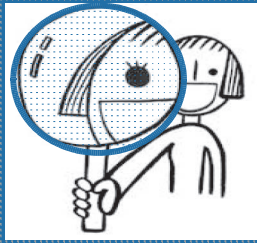
「これだ」と思う好きなことに取り組み、世界中のファンを幸せにしたフレディの人生。学ぶことはたくさんあると思います。

テレビで次々報道 わが市の 高齢者のお風呂の廃止

小曾木・沢井・東青梅のお風呂を今年3月には廃止すると市は言います。

財政難が理由ですが、ふつう行政はこんなに急に福祉サービスを切らないものです。周辺の自治体は同様のサービスを続けています。もっと時間をかけ、高齢者の居場所の代替案などを練るべきです。市民から施設の多様な使い方・有料化の提案なども出ているではありませんか。市のやり方は乱暴ですが市議会では多くの議員が賛成してしまうため、利用者は危機感を持っています。公共施設の再編は、市民と市が協力しあってこそ成り立つものです。御上(おかみ)の目線で進めてはだめですよ。





ひだ紀子 は こんなふうにチェックした

おかしいことは
「おかしい」
といえる町に



談合事件で揺れた青梅市

10市の落札率を比較 してみた 青梅市はとても高い落札率

都から補助金が出たため多くの市がいっせいに学校の特別教室にエアコンを付けました。比較するため平成28・29年度、多摩11市の落札率を調べました。青梅市の平均落札率は約97%。非常に高い。工事全体で約2億1800万円かかっています。「青梅市は山間部だから落札率が高いのでは?」と市の担当者は言います。皆さんはどう思いますか? 国分寺市は青梅市より19%低い。もし青梅市もこの落札率だったとすると約4300万円安くなるはず。青梅市の特徴は事前に予定価格を公表していることです。

総務省は「事前公表は落札率が上限すれすれに張り付くケースが多い。それを防ぐため事後公表にするべきだ」と言っています。しかし市はこうした改革に背を向けてきました。私は学識経験者や弁護士らによる「第三者検討会」を設けて、入札改革をするよう市に求めています。

学校特別教室 空調工事落札率		
1	国分寺市	78 %
2	西東京市	79 %
3	蔵村山市	84 %
4	多摩市	86 %
5	立川市	89 %
6	東村山市	91 %
7	八王子市	92 %
8	狛江市	96 %
9	青梅市	97 %
10	町田市	97 %
11	調布市	98 %

いじめを個人の問題にすりかえないで! 市内中学生の死をめぐって

3年半前、市内の中学生が橋から落ちて亡くなりました。二学期が始まる2日前でした。ご家族は「いじめを受けていた」「しっかりした調査を」と何度も求めましたが、学校も教育委員会も「重大事態」と認めようとしません。学校長からは2度も「うちの学校にはいじめはない」という発言があり、生徒たちが交わしたライン等のSNSは「ひどい内容があるから消しなさい」「うわさ話をしないように」と全校に指導。地元では「まるでかん口令だ」と受け止めたほどでした。思いがけないわが子の死・・・どうしてこんなことに? ご家族が知りたいと願うのは自然なことではありませんか。お父さんは市長に手紙を書きましたが、市長は会おうとしませんでした。私はご家族のお話をよく伺い、一般質問で取り上げてきました。いじめは私たちの社会の問題だと考えているからです。

第三者調査部会による調査

ついにご家族は弁護士を仲介人として調査を求める申し立てをしました。専門家による調査の結果、いじめがあったこと、断定はできないが、子どもの死にいじめの影響はあったのではないか、といった内容の報告書が公表されました。また調査部会は青梅市の対応を厳しく批判し、たくさんの提言をしています。「こんなつらく悲しいことが二度と起きないように」とご家族は願っておられます。いじめから子どもたちを救うため貴重な資料・財産として報告書を活かしていかなばなりません。

報告書は、市教育委員会のホームページで公開されています。



市民大ホール平土間式でいいの?

市民会館跡に建設中の文化交流センターの小ホールは、平らな床にスタッキングいすを並べる「平土間式」。狭いホールで機能も中途半端なため、文化団体には不評です。

さらに東青梅ケミコン跡地に大ホールを造る計画が、急ピッチで進行中。

こちらも大ホールは「平土間式」。小ホールにしっかりした劇場機能がないのだから、大ホールはひな壇式ホールを、と私は考えています。そうでなければ、地元団体・市民は発表の場を市外のホールに移していくことでしょう。

市民が使わなければ、稼働率が上がるはずがありません。市は初めて民間企業に建設・運営をすべて任せるPFIという手法で作るため、ゼネコンが手を挙げやすい形を第一に考えているようです。文化を通じて町の賑わいを作っていこう、というビジョン

がないため、市民参加・市民活動は後回し。これはまずいと思います。いったん立ち止まり、羽村市が「ゆとろぎ」を作ったときのように、「市民会議」を作り市民と継続的に検討を重ねてはどうでしょうか。